

長崎市立図書館 2012年 長崎本ベストリーダー

今回は、2012年に利用が多かった2階地域資料コーナーの貸出ランキングを発表します。様々な視点から、私たちの住む町について教えてくれる“長崎本”の数々。ぜひ一度手にとって、長崎の新たな一面を覗いてみてください。

1位 (32)



『ナガサキ
インサイトガイド』

ナガサキペイデザイン
センター/出版
講談社

美しい写真と分かりやすい解説で、長崎の魅力を余すことなく教えてくれるガイドブック。長崎ゆかりの人物や渡来してきたもの、継承してきた文化などを77のキーワードに分類し、長崎を丁寧に紐解いています。

2位 (26)



『復元!
江戸時代の長崎』

布袋 厚/編著
長崎文献社

現在の地図に、江戸時代の長崎の町を復元して作られた“長崎惣町復元図”の解説書です。普段生活している場所の昔を知ることで、新しい発見があるかもしれません。この本を片手に、長崎の街を探索してみるのも楽しそうです。



『はじめての長崎』

のざわのりこ/著
ザ・ながさき/著
ザ・ながさき

栃木県から移住してきた作者が、長崎で生活していて驚いたことや発見したことを漫画で読みやすく紹介してくれます。私たち地元民には“あたりまえ”だと思っていたあれこれも、この本を通してみると新鮮に感じられるかもしれません。

3位 (20)



『長崎事典
風俗文化編1988年版』

秋月 辰一郎/ほか 監修
山田 かん/ほか 執筆
長崎文献社

「長崎の風俗文化を知りたいならこの1冊!」と言っても過言ではないのが、この『長崎事典 風俗文化編』です。小学生の自由研究から、大人の本格的な調べものまで、幅広く活用することができるのがこの本の魅力です。調べたいことが見つかったら、まずこの本を参考にしてみてください。

4位 (19)



『トピックスで読む
長崎の歴史』

江越 弘人/著
弦書房



『長崎居留地の西洋人』

レイン アーンズ/著
福多 文子/訳 監訳
栗取 和雄/訳
長崎文献社



『長崎に来ちゃった!』

のざわのりこ/著
長崎新聞社



『くちびるに歌を!』

中田 永一/著
小学館

カッコ内の数字は、貸出回数です。(2012年1月5日～10月31日)

図書館カレンダー

※12/4(火)～12/11(火)は蔵書点検のため、12/29(土)～2013/1/4(金)は年末年始のため休館します。

※毎週火曜日は休館日です。

※開館時間 朝10:00～夜8:00

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

2013年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

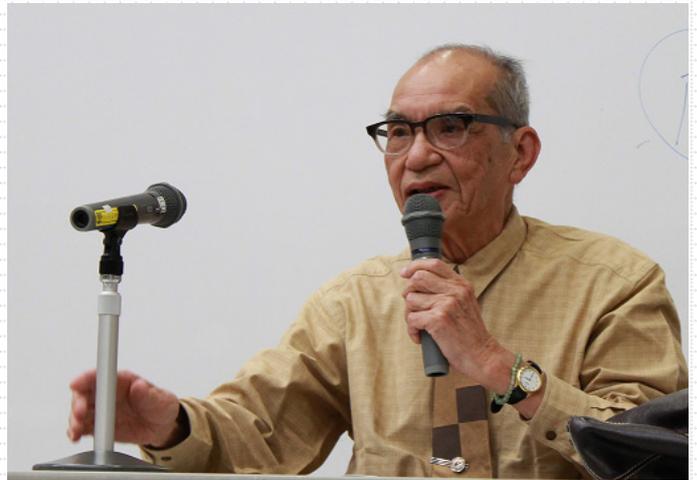
今年も大好評！越中哲也氏講演会

第5回長崎学講座「長崎のまちを訪ねて—仏像を中心に—」

11月3日、第5回長崎学講座を開催しました。講師は長崎ではおなじみの郷土史家・越中哲也先生。「長崎のまちを訪ねて—仏像を中心に—」と題し、長崎のまちについて仏像を切り口に解説して頂きました。

スライド上映では、実際に様々な仏像を見ながら、越中先生が参加者に質問を投げかけたり、会話をしたりと、全員が一緒に学べる講座となりました。

毎回大好評の長崎学講座。今年も定員を超えるたくさんのご参加、ありがとうございました。次回もどうぞご期待ください。



こどもから大人まで、みんな一緒に楽しめる！

いろいろな国のことばのおはなし会



11月10日、いろいろな国のことばのおはなし会を開催しました。当日はこどもから大人まで約40名の参加があり、(公財)長崎県国際交流協会の方による英語・韓国語・中国語の絵本の読み語りを楽しんでいただきました。参加した子どもたちは、聞き慣れない外国語に興味津々で、ことばが分からないながらも、絵本に熱中している様子が印象的でした。外国語の手遊びでは、ネイティブの方の発音を真似、リズムの面白さを感じ取っているようでした。回を重ねるごとに好評を博しているいろいろな国のことばのおはなし会。たくさんのご来場、ありがとうございました。



ブック・バトン なみだ

このコーナーでは毎月2名の図書館員がテーマに関するおすすめの本を紹介します。

温かい涙

涙なしでは読めない本を2冊、紹介します。

1冊目は『わすれられないおくりもの』。一見「身近な人の死」という難しいテーマを扱っている絵本ですが、「死」は悲しいだけではないことを教えてくれます。アナグマの死はとても悲しいけれど、アナグマが動物たちに残した贈り物は、死を迎えても消えることはありません。最後にモグラが残した「ありがとう、アナグマさん」という言葉こそが、そのことを表しています。読みながら温かい涙が止まりません。

2冊目は『ハッピーバースデー』。「おまえ、生まれてこなきゃよかったよな。」と、冒頭こそ衝撃の一言で始まるこの本ですが、主人公あすかの生きる姿に、何度読んでも勇気をもらえます。声を失ったあすかに対して接する祖父母の愛情、親友めぐみとの永遠の別れ……。あすかの生き様を通して「人は変われる」ということを学びます。

どちらも児童書ですが、様々な経験をしてきた大人の方にこそ読んでほしい2冊です。

(司書 古巣 明日香)

①



②



① 『わすれられないおくりもの』

スーザン バーレイ/さく え 小川 仁央/やく 評論社
外国絵本 Eバ

② 『ハッピーバースデー』

青木 和雄/作 加藤 美紀/画 金の星社 児童 913ア

涙の理由

人はなぜ涙を流すのか、理由を知りたくてわたしが手に取った本はそのものズバリのタイトル『涙の理由』です。作家と脳科学者の対談なのですが、涙=感動と思っていたわたしは、涙を肯定的に語らない2人に刺激を受けました。その中で共感したのが「豊かな記憶が自分だけの涙をつくる」ということです。涙を流すというのは本来とても個人的なことであり、その理由も多様性があるのです。本を読むときにも、登場人物がなぜ泣いているのか、自分がなぜ泣くのか、説明のつかない感情に思いを巡らせてみようと思います。

そんな涙を流す主人公で思い出したのが『ねずみ女房』です。人家で暮らしているめすねずみは、人間に捕まえられて鳥かごに入れられた鳩と知り合うことで家の外の世界を知ります。鳥かごの中でどんどん衰弱していく鳩を思って流した涙が、ねずみのひげの先にとまっている場面が印象的です。ねずみはこのあともう1回涙を流すのですが、悲しみや憧れなどの思いがこもった涙をぜひ読みとってください。

(司書 岡田 典子)

③ 『涙の理由 人はなぜ涙を流すのか』

重松 清・茂木 健一郎/著 宝島社 2階一般 141.6 シ

④ 『ねずみ女房』

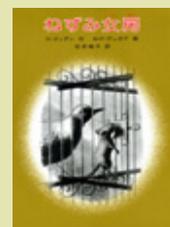
R・ゴッデン/著 石井 桃子/訳 W.P.デュボア/画

福音館書店 児童 933 ゴ

③



④



寄贈紹介「富永児童文庫」 ●●●●●



青少年健全育成活動の一環として、読書を通して明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和 56 年に 3,484 冊（300 万円相当）の図書で文庫を創設されました。

その後も毎年読書週間に寄贈していただき、今年も 90 冊（10 万円相当）の図書をご寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は 6,946 冊になります。

寄贈紹介「長崎しにせ会文庫」 ●●●●●



長崎市で創業し 100 年以上の業歴を有する老舗により構成される長崎しにせ会が平成 21 年 3 月、創立 50 周年記念事業として 296 冊（150 万円相当）の図書により文庫を設立されました。長崎の青少年をはじめ、多くの人に幅広く世界に通用する大きな器の人間をめざし、物事の本質を考え抜く人間になっていただきたいという趣旨で、仕事に役立つ歴史・古典など先人の世間知、人間知、人生知を知るための図書が揃っています。

今年も引き続き 30 冊（5 万円相当）の図書を寄贈していただきました。これまでに寄贈していただいた図書は 388 冊になります。

年末年始のお知らせ ●●●●●

12 月 29 日（土）～1 月 4 日（金）は年末年始の休館期間となります。これに伴い、12 月 15 日（土）～12 月 28 日（金）に貸出される資料の貸出期間を 3 週間に変更します。休館中の返却は、返却ポストをご利用下さい。ただし、DVD・CD・紙芝居は壊れやすいので、返却ポストには入れず、開館時に返却カウンターへお返し下さい。公民館、ふれあいセンターの図書室の休館日は、直接各館にお尋ね下さい。

貸出券には有効期限があります。●●●●●

- ・登録された日以降の誕生日から 3 年 2 ヶ月後に期限が切れます。
- ・有効期限の 2 ヶ月前からカウンターで更新のご案内をいたします。
- ・更新手続きは誕生日から有効期限までの 2 ヶ月間に行ってください。
- ・旧貸出券にも有効期限があり、間もなくご利用頂けなくなります。新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- ・更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの（免許証や保険証など）の提示をお願いいたします。（小学生以下の方は申請書の記入のみ）
- ・**有効期限が切れた貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**



予約ランキング ●●●●●

(2012 年 11 月 11 日現在)

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	舟を編む	三浦しをん	光文社	365	6	空飛ぶ広報室	有川 浩	幻冬舎	209
2	虚像の道化師	東野 圭吾	文藝春秋	354	7	白ゆき姫殺人事件	湊 かなえ	集英社	197
3	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野 圭吾	角川書店	327	8	置かれた場所で咲きなさい	渡辺 和子	幻冬舎	167
4	禁断の魔術	東野 圭吾	文藝春秋	277	9	「空腹」が人を健康にする	南雲 吉則	サンマーク出版	146
5	ソロモンの偽証 第1部	宮部 みゆき	新潮社	254	10	鍵のない夢を見る	辻村 深月	文藝春秋	136

※予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。